

# 東三河地区「拡大家庭教育推進協議会」 家庭教育を考える会

## I 概要

- 1 日時 令和元年11月27日（水）午後1時30分から午後4時まで
- 2 会場 御津生涯学習会館
- 3 参加者
  - ・協議会委員 15名
  - ・協議会委員以外の参加者 21名（教育行政関係者9名、子育てボランティア4名、保育園関係者4名、小中学校PTA2名、公民館関係者2名） 合計36名

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分から午後1時50分まで  
優良家庭教育推進組織等顕彰  
特定非営利活動法人 ゆう（豊川市）



障害のある子の親の願いから2003年に設立し、各種の公的福祉事業を提供すると同時に、市民活動として福祉地域の中で障害特性を肯定的に受け止めありのままに過ごすための、家族や支援者に向けた活動を行っている。

## 2 講演

- 午後1時50分～午後2時5分  
「身近で気軽に相談できる場所」の現状と問題点について  
豊川市子育てネットワーカー 志村 貴子 氏



【昔の相談場所について話をされる志村さん】



【手遊びで会を和ませる志村さん】

### 3 グループ協議・全体会 午後2時10分から午後3時50分まで <テーマ>

#### 「身近で気軽に相談できる場所づくり」



【Cグループの様子】

6グループに分かれ「グループ協議」を行いました。まずは、自己紹介をかねてアイスブレイクで、リラックスできる雰囲気！



【Fグループの様子】

#### グループ協議における意見

##### Aグループ

- ・情報の提供をツイッターやブログで発信
- ・“相談”という言葉を変える。

##### Bグループ

- ・豊橋は11月からAIが相談にのるシステムがある。
- ・講座や広場、児童館などに出向いて顔見知り。

##### Cグループ

- ・子育て支援の「支援」という言葉が重い。
- ・情報提供者と受け手側の感じ方のギャップが大きい。

##### Dグループ

- ・相談者にとっては、このくらいのことを相談していいのだろうかと思うこともある。

##### Eグループ

- ・今ある場所が身近に相談できる場となるとよい。

##### Fグループ

- ・母親が子供に引っ張られるような場所を作る。



【全体会の様子】

グループ協議終了後、全体会でグループごとに意見交流された内容を共有しました。

#### 【参加者の声】

各地での相談場所がたくさんあることを知りました。子供に関する相談や子育てしている親が悩んでも気軽に相談できる場をもっと知ってもらいストレスなどをためないように改善していけたらいいなと思いました。

とてもよい協議で小さい子を持つ私にとっては参考になりました。

### 4 閉会行事

午後3時50分から午後4時まで

## Ⅲ 課題や今後の取組について

今回は、グループ協議（情報交換）の前に、協議を充実させるために子育てネットワークの志村さんにテーマについての講演を行っていただいた。運営委員からは、「話題がぶれずに話し合いが進んだ」との声が多く、協議が深まった印象を受けた。

参加者の選定が難しかった市もあり、参加者の中には、家庭教育の分野に詳しくないため、協議に十分に関われない方もいたようである。今後、「来てよかった」と思えるように内容を工夫していく必要がある。